８月４日㈰町総合防災訓練を実施します。

今年元日に発生した能登半島地震では、260人もの犠牲者に加え、今でも3,000人近い方が避難所生活を送られています。皆さまは、本町が道内で直下型地震が最も多いことをご存じでしたか？日本海溝・千島海溝周辺型地震も心配される中、４年ぶりに大地震発生を想定した町総合防災訓練を実施します。

昭和13年の屈斜路地震による被害

●日時：８月４日㈰９時30分頃～
●会場：摩周観光文化センター

当日は会場に避難所を開設し、会場周辺住民の方を中心とした避難訓練を実施するほか、能登半島地震の対応から得られた教訓を踏まえ、住民の皆さまの「身を守る行動」や「自助」に役立つわかりやすい防災講話、段ボールベッドなどの組立て、備蓄食料や防災グッズの紹介、消防車などの展示を計画中です。

また、当日は釧路管内８市町村が参加する北海道防災総合訓練も実施されます。

※当日は、携帯電話のエリアメールなどを使い災害を想定した通知を行う予定ですので、「災害が発生した」とお間違えにならないよう、ご注意ください。

問い合わせ先／役場総務課防災情報係☎４８２-２９１２（課直通）

エコのすすめ

COOL CHOICE

▶COOL CHOICE（クールチョイス）とは
地球温暖化を防止するため、省エネ・低炭素型の「製品」「サービス」「行動」など、『賢い選択』をしていこうという国民運動です。

夏こそ節電に取り組もう！

◆昨今の先行き不透明な燃料情勢により全国の電力需給も厳しい見通しです。大規模な発電所トラブルが発生した場合、安定供給ができない可能性があります。私たちも可能な限りでの節電に取り組みましょう！！

こまめなスイッチオフを!!

- 長時間家を空けるときや人のいない部屋の電気をつけっぱなしにしていませんか？
不要な電気はできるだけ消すようにしましょう。
また、テレビ等の機器についてもリモコンの電源ではなく、主電源を切るように心がけましょう。

エアコンの使い方を見直そう!!

- エアコンは夏場に最も電気代がかかる家電です。
しかし、夏場にエアコンはかかせないですよね。
そこで、エアコンの設定温度を見直してみましょう！
設定温度を１℃上げるだけで、約10%の節電につながります。また、エアコンのフィルターの定期的な掃除により、エアコンの働きも良くなります。

熱中症にご注意ください

屋内でも熱中症にかかる場合があります。無理のない範囲での室温設定、こまめな水分補給を心がけるなど、十分ご注意ください。

問い合わせ先／役場環境生活課環境係☎４８２-２９３４（課直通）

中心市街地再構築事業（第６回）

新たな複合施設の外構をご紹介します。

広報てしかがでお知らせしています旧営林署跡地に整備する複合型地域観光交流拠点施設（図書館・プール・温浴・カフェなど）の基本設計の概要を、今月も引き続き紙面でお知らせします。

第６回（最終回）のテーマは建物周辺の外構についてです。

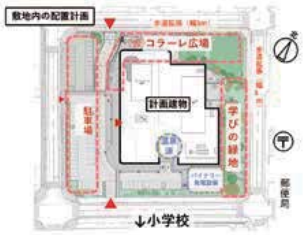
なお、実施設計完了後に改めて全体像をお知らせします。

南西は駐車場、北側は(仮)コラーレ広場で活用

施設への車両の出入りは、安全性に配慮し傾斜を緩やかにした南北の出入口を主とし、両出入口をつないだ構内通路を配置します。構内には約80台収容の駐車場を設け、バスなどの大型車両もメインエントランスへ直接アクセスしやすい配置とします。

北側には階段状にゆったりとくつろげる歩行空間を設け、コラーレ広場の想いを受け継ぎ、商店街と連携し連続性を保ちながら多くの町民や観光客が交流できる空間とします。

また、車いす利用の方などはメインエントランスおよび南側から施設へ入場できるように専用の駐車場を設けるとともに、脱炭素に配慮したＥＶ（電気自動車）充電設備を設置します。



東は新たな「学びの緑地」として整備

複合施設建設や駐車場の舗装化に伴い、防災の観点から法令で計画的な雨水排水が求められます。そのため施設の北東側には大雨の際、一時的に雨水を貯める緩やかなすり鉢状の広場（調整池）を設置します。

この広場は芝生で整備し、晴天時には休憩やイベントなどにも供用し有効活用を図ります。

また、東側は樹齢が高く既に枯れてしまっている樹木が多数を占めているため、施設造成のため一部を残して伐採します。複合施設建設後には町民の皆さんと新たに植樹などを通し、次の世代に引き継ぐ緑地を創り、バイナリー発電施設とともに「学びの緑地」として、自然と温泉の町としての特性や豊かさを醸成します。

中心市街地再構築事業の今後の展開について

資料などを公開している町ホームページのQRコード

施設の利活用に関しましては令和８年度の供用開始まで、引き続きワークショップなどを通じて町民の皆さんのご意見も伺いながら検討を続けていきます。また、町では今年度秋を目途に当該市街地エリアの今後のまちづくりの未来を描く未来像（ビジョン）を町民の皆さんと創り実現していくため、関係機関団体とともに「(仮) エリアプラットフォーム（協議会）」を設立します。

ワークショップなどの折には改めてご案内しますので是非ご参加ください。

※なお、当該基本設計の概要については1月24日に生配信されたyoutubeの「弟子屈町公式チャンネル」のアーカイブでもご覧いただけます。また、当事業に関するこれまでの経過やワークショップの資料については、町公式ホームページで随時公表しておりますので是非ご覧ください。

問い合わせ先／役場まちづくり政策課地域振興係☎４８２-２９１３（課直通）